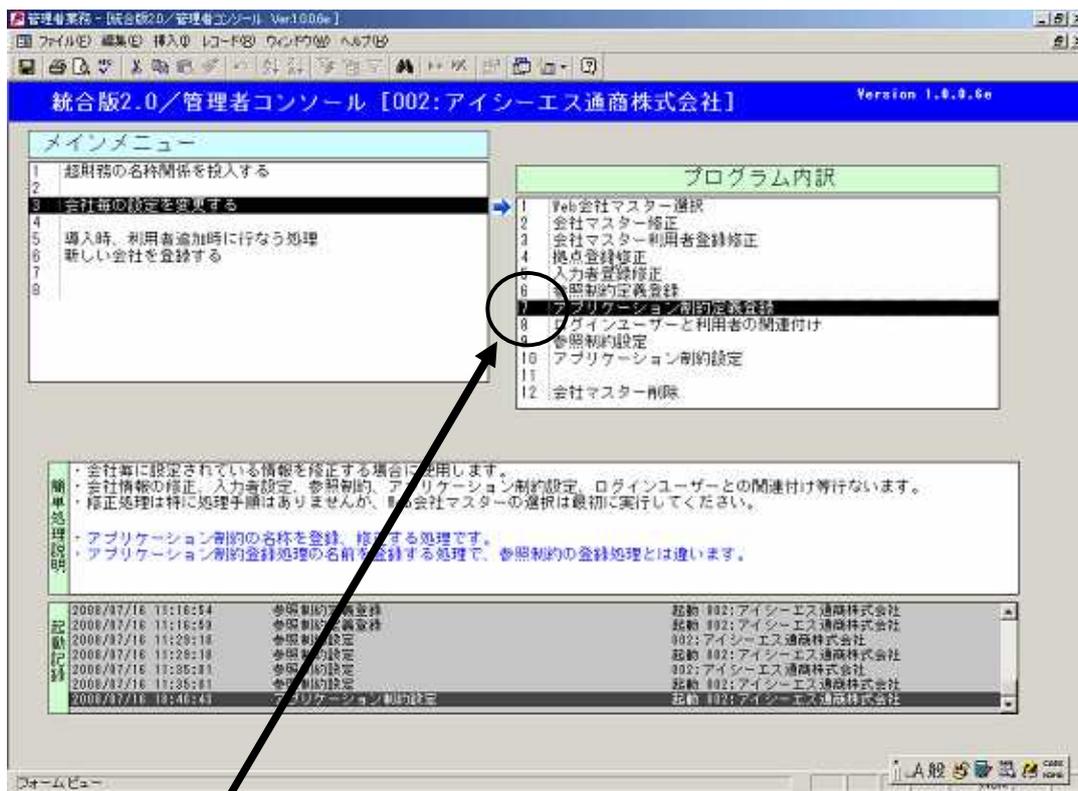
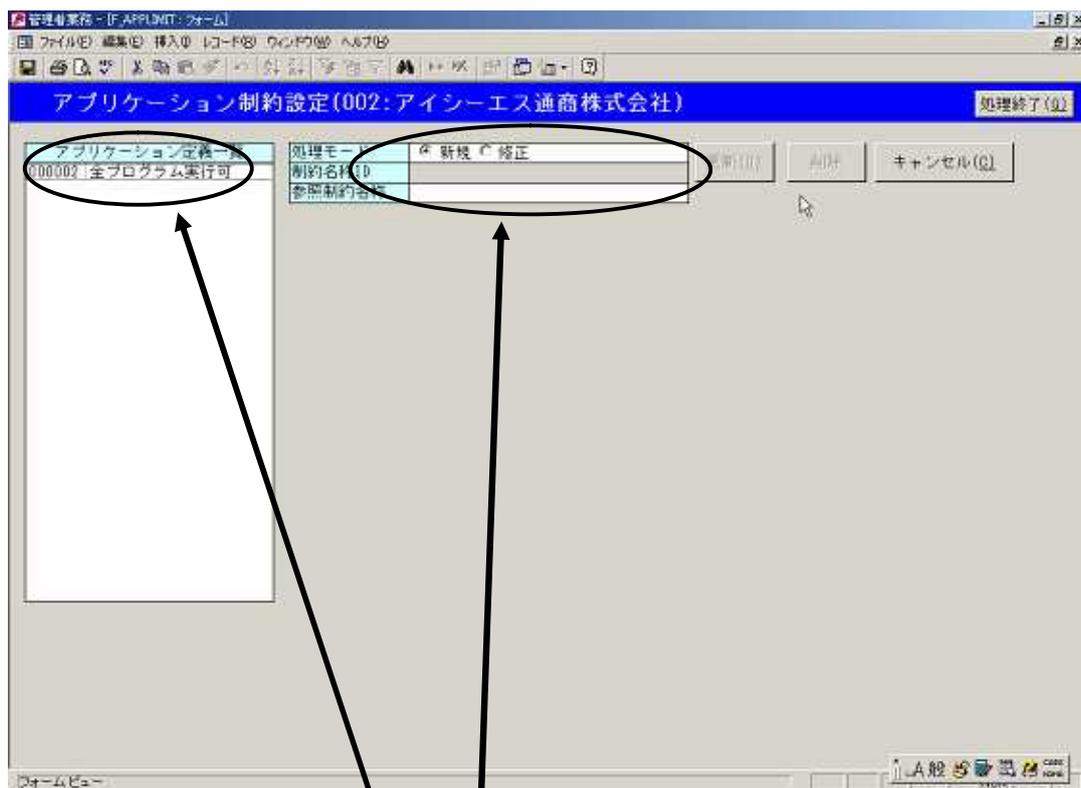


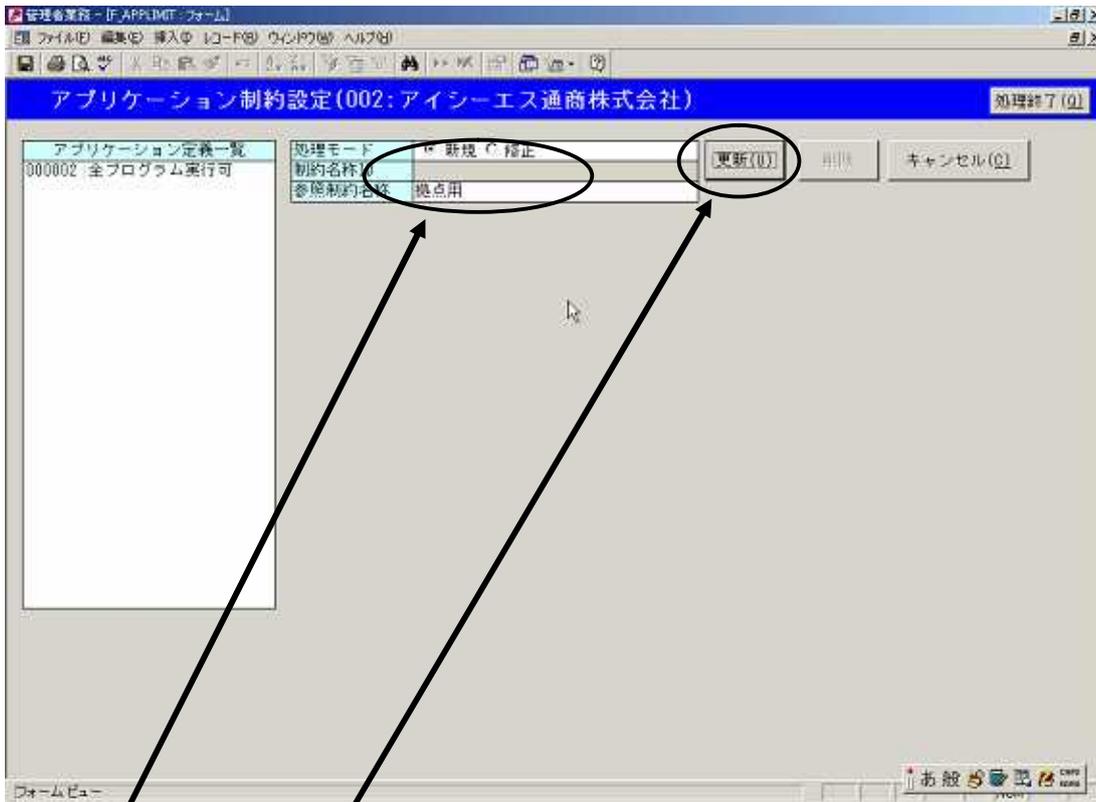
管理者業務(アプリケーション制約設定)



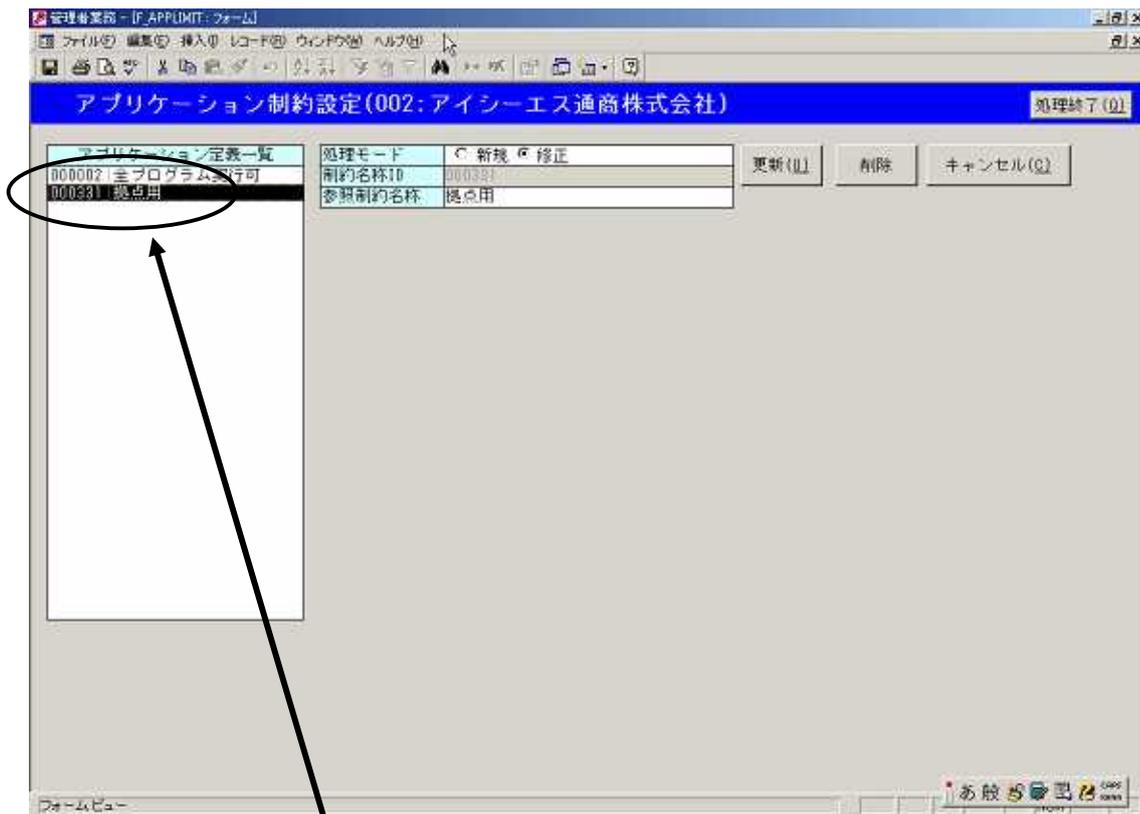
7.アプリケーション制約定義登録を選択します。



通常は制約パターンは"全プログラム実行可"の1パターンのみ登録されています。
新規で"拠点用"等任意の名称で制約パターンを追加することができます。

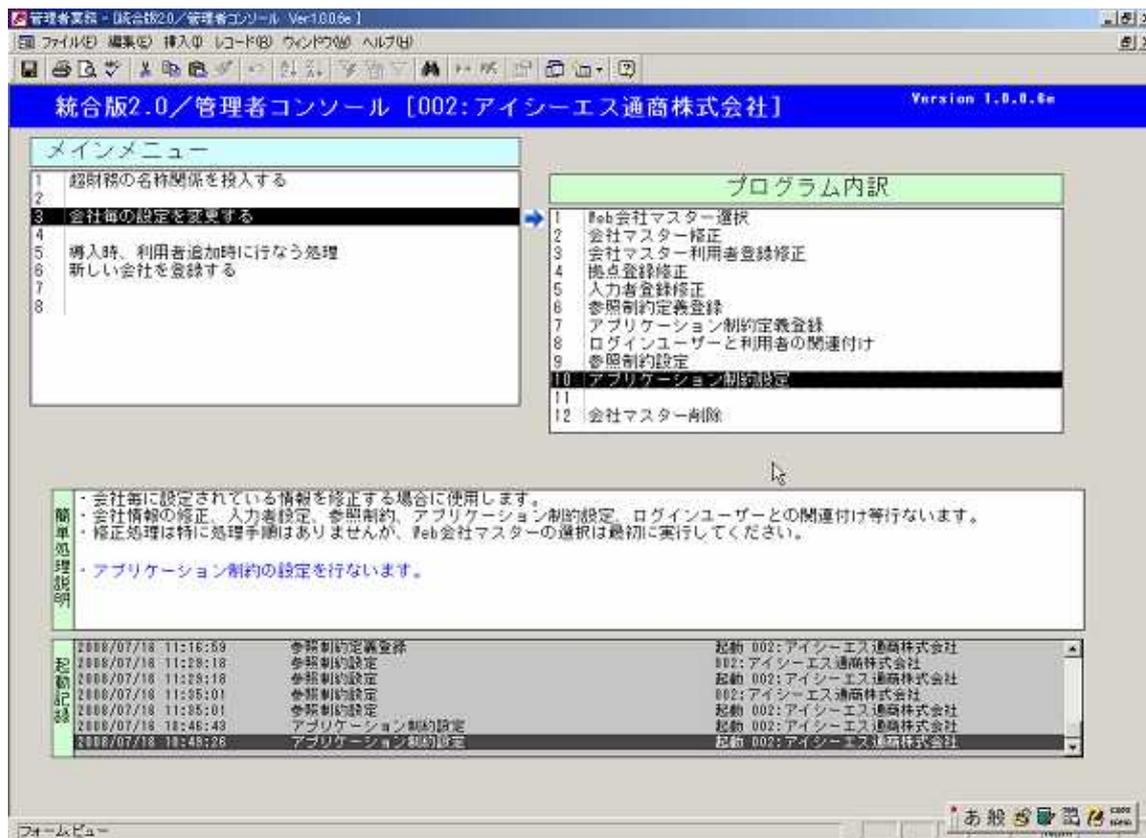


”拠点用”と入力し、更新ボタンを押します。

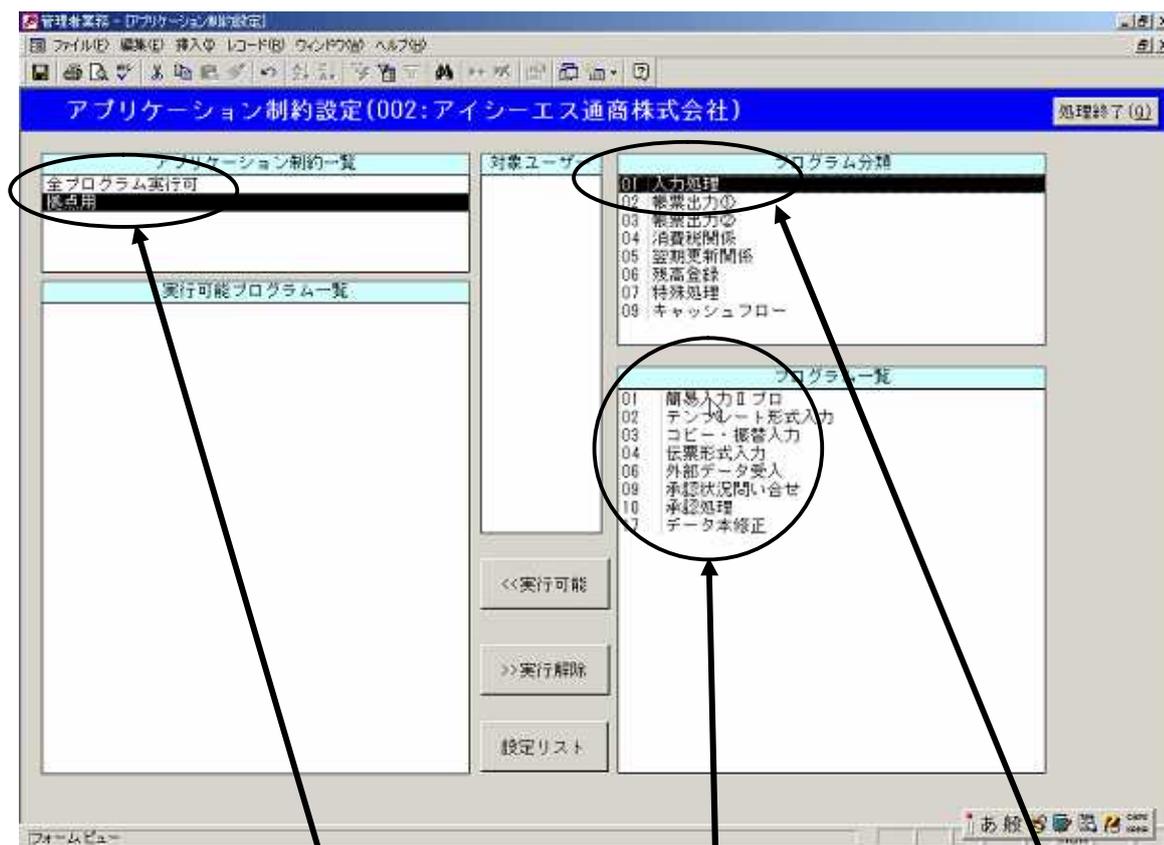


新しく追加した名称が参アプリケーション定義一覧に表示されたことを確認して下さい。

管理者業務(アプリケーション制約設定)

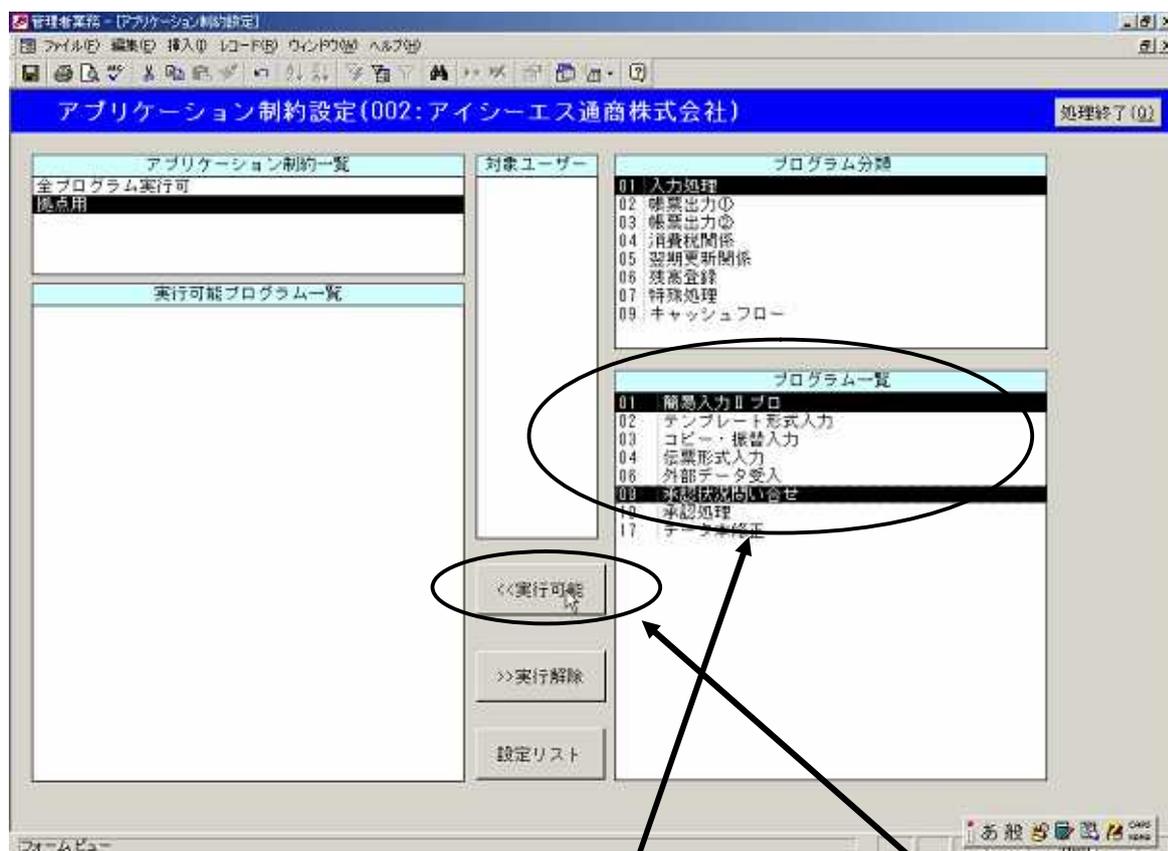


次に 10.アプリケーション制約設定を選択し、WEBプログラムメニュー上で表示するプログラムのパターン登録を行います。

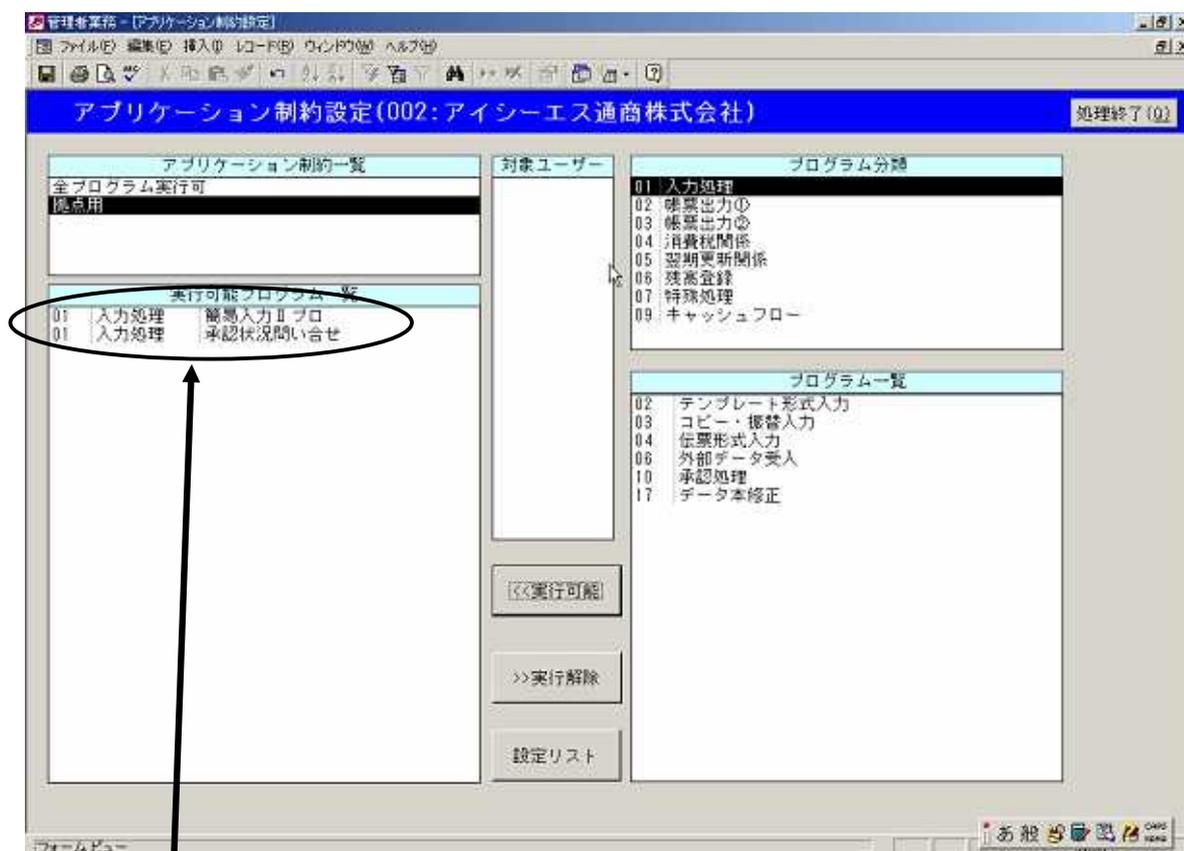


前ページで登録した”拠点用”を選択します。右上”プログラム分類”の中から”01入力処理”を選択(シングルクリック)しますと、下段”プログラム一覧”に入力処理プログラムの詳細が

表示されます。ダブルクリックすると全てのプログラムが実行可能として左側へ移動します。

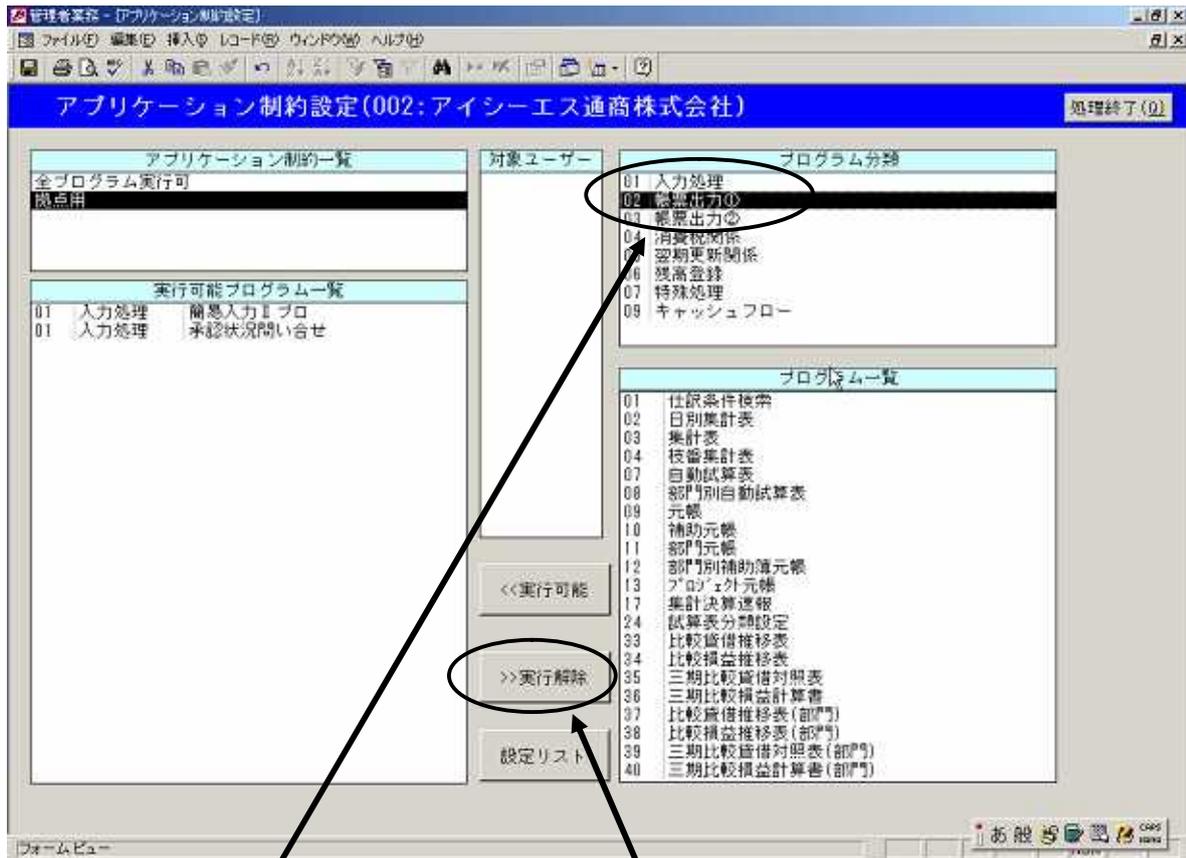


プログラム一覧の中から使用を許可してもよいプログラムを指定し、“実行可能”ボタンを押します。



選択したプログラムが左側のボックス(実行可能プログラム一覧)に移動したことを確認して

下さい。



同様に”02帳票出力 ”以下についても登録を進めていきます。

左側へ移動してしまった実行可能プログラムは”実行解除”ボタンで元に戻すことができます。

全ての登録が完了しましたら右上”処理終了”ボタンでメニューを閉じます。